

はじめに

盛岡市は南部盛岡藩の城下町として、また岩手県の県都として、多くの先人が築いた礎のもと、今日まで発展してきました。当市の目指すまちづくりは「人々が集まり、人にやさしい・世界に通ずる元気なまち盛岡」をスローガンとし、また教育施策の基本理念の教育ビジョンでは、「ふるさとの文化の継承・創造・発信」を施策の柱としています。

そのような自然景観や歴史文化が維持され、「杜と水の都」として知られる盛岡市は、岩手山や姫神山などの秀峰を望み、北上川をはじめ、市内をいくつもの清流が悠々と流れ、当館も零石川南岸に広がる緑豊かな市中央公園の一角に位置しています。広大な公園内には岩手県立美術館・盛岡市先人記念館・盛岡市子ども科学館など博物館・美術館施設が設置され、近隣する原敬記念館や志波城古代公園を含め、付近は美術・人物・科学・歴史とジャンルの異なる6施設が集中する名実ともに文化の継承・創造・発信のミュージアムゾーンとなっております。

当館は平成16年度に埋蔵文化財の調査・整理・収蔵を行なう埋蔵文化財センター機能と、出土品の展示や遺跡についての体験学習などが行なえる博物館機能を兼ね備えた施設として設置されました。

毎年、埋蔵文化財発掘調査が実施されていますが、22年度は市内28カ所で行われ、大規模区画整理事業として平成4年度から実施されている盛南開発事業関連調査では、本宮・向中野地区の5遺跡6地点を対象に行なわれ、また民間開発・市公共事業及び個人住宅建築など、さまざまな開発事由による発掘調査を含めると、22年度の調査面積は25,000m²以上にも及びます。その調査成果は逐次、報告書として刊行しますが、本書では速報としてその概要をまとめました。

また展示公開などの学芸事業では、藩政時代から城下で焼かれた陶磁器を中心とし、「もりおかで焼かれた“やきもの”－セトモノから煉瓦まで－」と題して、企画展や講座を開催いたしました。

また関連事業として、城下盛岡の山蔭焼や花古焼の流れを汲む花巻焼について、花巻市立博物館の酒井宗孝さんをお招きし、「花巻のやきもの」と題して講演会を行っていただき、好評を博しました。そのほか史跡めぐりや体験学習など多彩な内容の事業を行ってまいりましたが、これからも市民をはじめ、多くの皆様をお迎えできるよう、内容のさらなる充実を図りまして職員一同励んで参りたいと存じます。

今後とも関係各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年3月

盛岡市遺跡の学び館

館長 田山 浩充